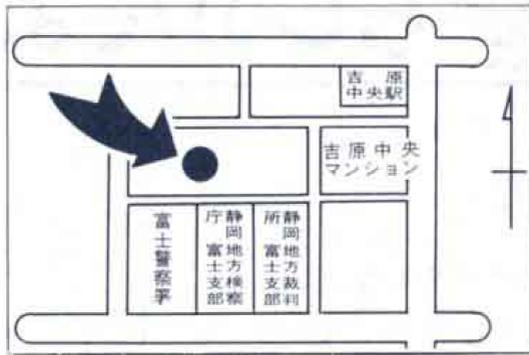


# じせつめり

## 新通り町公園



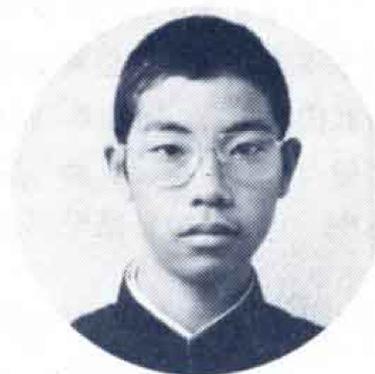
中央町2丁目31

# 学校自慢

## 吉原第一中学校



### ぼく達の部活動



三年生  
渡邊幸成君  
ゆきなり

2年連続しての全国大会出場、更に昨年は金賞受賞という輝かしい伝統をもつ吹奏楽部の部長を、ぼくが受け継ぐと決まった時、新たにその重みを感じました。3年生になると顧問の先生も変わり、一瞬みんなも不安そうでした。しかし、先生の「人の和」「自主性」を強調した、新しい部活作りをしていくうちに、自然に不安も消えてしまいました。

今年は東海大会から出場し、ついに3年連続して全国大会に出場することができました。結果は銅賞でしたが、日ごろ鍛えた一中サウンドで演奏できたことは確かです。

ぼく達の学校には全国大会に出場した剣道部のようにすぐれた運動部もたくさんあります。これからも運動面、文化面共に活躍して、すばらしい学校にしていきたいと思ひます。



新通り町公園は、吉原中央駅から徒歩で5分。区画整理された、明るく風通しのよい住宅地域の児童公園として昭和42年に完成しました。

広さは5,000平方メートル。ベンチ、メリーゴーランド、スベリ台、石の山砂場、ブランコ等遊具のほかゲートボール場を兼ねたソフトボール場も一面あります。

この新通り町公園は、ミニSL鉄道公園としても市民に親しまれています。富士吉原ライオンズクラブが

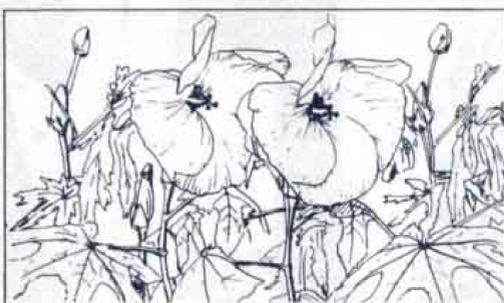
“青少年に愛と希望を”テーマに古い懐かしい時代のSLと、時代の先端を行く新幹線車両を設置、展示してくれたものです。

新幹線の実物の運転席でノッチを握り、“ぼくは特急の機関士ヨ、と唄うお年寄り、黒い煙と白い蒸気をはきながら力強く走るSLに目を輝やかす子どもたち等、多くの市民の憩いの場として利用されています。

◇ミニSL運転日 毎月第1・3日曜日(10:00~12:00と13:00~15:00)

### 薬草のおはなし⑪

薬草名 トロロアオイ  
生薬名 黄蜀葵  
薬効 せき、のどの痛み



中国原産の1年草で、4月に種子をまくと、夏から秋の初めにかけて、淡黄色で5弁の大きな花を開く。

トロロアオイは日本紙の紙すき糊として用いられるため、主に和紙の生産地で栽培されている。

薬用部分の根は秋に掘りとり、水洗いして外皮を除き、適当に切って日干しにする。

1回に小刻みにした乾燥根5gを飯茶わんに入れて熱湯を注ぎ、少量の砂糖を加えて飲む。